

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査三郷市の調査結果分析と今後の方策例

中学校英語

主な成果（○）と課題（▲） 全国差：全国平均正答率との差

三郷市教育委員会

英 語

【全体の結果（正答数分布グラフ等からの分析）】

- ▲平均正答率は52.0％である。
- ▲全国と正答数を比較すると、その差は－0.9問であり、全国を下回る。
平均正答数：全国（11.8問／21問）三郷市（10.9問／21問）
- ▲全国と正答率を比較すると、その差は－4.0％であり、全国を下回る。
平均正答率：全国（56.0％） 三郷市（52.0％）

【領域別、評価の観点別結果】

- ▲学習指導要領の領域「聞くこと」は全国差－2.7％、「読むこと」は全国差－4.5％、「書くこと」は全国差－4.5％とすべての領域において、全国平均を下回る。（「話すこと」は機器の不具合等の理由で参考値扱い。）
- ▲評価の観点「外国語表現の能力」は全国差－0.4％、「外国語理解の能力」は全国差－2.6％、「言語や文化についての知識・理解」は全国差－4.7％とすべての観点において、全国平均を下回る。

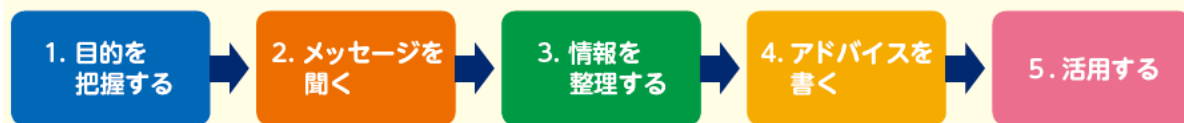
【設問別結果（平均正答率、無解答率からの分析）】

- 2「イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える問題」（まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる）では、全国差＋3.4％である。
- ▲4「来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く問題」（聞いて把握した内容について、適切に応じることができる）では、全国差－2.5％である。
- ▲6「発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する問題」（まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる）では、全国差－10.6％である。

【今後の方策例】 「アドバイスを書くためにメッセージを聞く授業展開例」

H31（R1）年度授業アイデア例（国立教育政策研究所教育課程研究センター）より

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



5. 活用する

学んだことを生かして、別のメッセージを聞き、アドバイスを書く

（問題）今、あなたは2泊3日のイングリッシュキャンプ（英語合宿）に参加しています。今日の予定について英語で放送が流れてきました。ルームメイトのサトシが部屋に不在のため、彼のために英語でメッセージを残すことになりました。放送の内容をよく聞き、サトシへのメッセージを英語で書きましょう。

Good morning. Are you enjoying this year's English camp? I hope you made many friends. I'm sure the camp will be a wonderful experience for you. Today is the last day. We're going to have the goodbye lunch from eleven a.m. to one p.m. But it is raining, so we cannot use the garden. We will eat in Room One, not in the garden. OK? Let's enjoy our last day at English camp.

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 聞いた後に何をしなければいけないか、目的をもって英語を聞くことを日常的に繰り返す。
- できるだけ1回で聞き取れるよう指導する。
- 適切に応じるために英語を聞き、内容を理解する活動を繰り返す。生徒の実態に応じながらも、指導のステップを少なくしていき、最終的には聞いてすぐに話したり書いたりすることができる姿を目指す。

適切に応じるために内容を聞いて把握することに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、目的・場面・状況に応じて、どのような内容を聞き取るべきか考えながら聞き取ることができるようになるための指導事例を紹介します。

